

令和6年3月13日

質問回答書

沖縄県知事 玉城 康裕
(公 印 省 略)

工事名：沖縄コンベンションセンター会議棟A特定天井耐震化改修工事（R5）

上記工事に係る仕様書等に対する質問について、以下のとおり回答いたします。

質問内容	回答
1. 現場事務所、仮設トイレは構内に設置する必要がありますか。また、会議等を行う場所をご教示下さい。	1. 設置する必要があります。工程会議については沖縄コンベンションセンター施設内又は沖縄県庁等を予定しています。
2. 本工事の範囲内や近隣に工事の支障となる障害物や残置場、廃棄物等が残存していないと判断して宜しいでしょうか。残存している場合は、移動、撤去、処分の費用について協議事項として宜しいでしょうか。	2. 本工事の範囲内や近隣には工事の支障となる障害物は残存しておりません。
3. 現場構内にて、工事関係車両の乗入れや駐車スペースの確保は可能でしょうか。	3. 工事関係車両の乗入れは可能です。駐車スペースについては5台程度駐車可能です。ただしいずれの場合も催事に影響することがないように、事前に監督員及び施設管理者と調整が必要です。
4. 共通仮設費の内訳について情報共有システムの設定、既存部分の養生費用等は協議事項として宜しいでしょうか。	4. 情報共有システムについては協議事項となります。既存部分の養生費については共通仮設比率に含んでおります。
5. 既設の金属製下地材、その他既存物等の撤去、運搬、処分費が数量書に計上されていません。産業廃棄物として適正処分とするか、また、金属類はスクラップとして処理して宜しいでしょうか。ご教示下さい。	5. 既設の金属製下地材、その他既存物等の撤去、運搬、処分費については公告時掲載資料の数量内訳書の「建築工事 細目別内訳」の科目名「撤去工事」のとおり計上しています。
6. 共通費算定の工期Tは、建築、電気共、9.3ヶ月で良いでしょうか。	6. お見込みのとおりです。
7. 鉄骨関連の工事は、鉄骨工事として補正の対象となっておりますか？	7. 補正の対象となっております。
8. 脚立足場と枠組棚足場の使用日数は何日ですか？	8. 210日です。
9. 資材搬入に伴い、敷地内の共通仮設が生じた場合は増減対象として対応可能ですか？	9. 共通費仮設比率に含んでおります。
10. 敷地内の現場事務所設置と作業員用駐車場確保は可能ですか？	10. 現場事務所は原状復帰することを条件に敷地内に設置可能です。作業員用駐車場については回答3をご参照ください。
11. 内訳書に沖縄県 CALS システム登録料が含まれておりませんが協議対象として考えて宜しいですか？	11. 回答4をご参照ください。
12. 内訳書にアスベスト粉塵濃度測定が含まれておりませんが、なしと考える宜しいですか？	12. お見込みのとおりです。
13. 沖縄コンベンションセンター敷地内への請負	13. 敷地内への請負者事務所、仮設トイレにつ

者事務所、仮設トイレ等の設置可能でしょうか？又電気、上下水道等の利用は可能でしょうか？	いては設置可能です（関連回答 10）。電気、上下水道の利用は可能ですが、使用料については別途協議とします。
14. 監督員事務所の設置は無しと、考えてよろしいでしょうか？	14. お見込みのとおりです。
15. 会議棟Aでの「催事」は工事期間内無しと考えてよろしいでしょうか？	15. 催事が無い期間は「R6.5.7～R7.1.31」となります。
16. 仮設工事の各足場基本料算定に係る設置日数をご教示ください。	16. 回答 8 をご参照ください。
17. 足場設置の際、床面養生の為ベニヤ等にて養生が必要と思われます。又外部に面するガラス面の養生共その費用は追加協議可能でしょうか？	17. 共通仮設比率に含んでおります。
18. 工事範囲への仮設壁等必要が出た場合追加協議可能でしょうか？（アスベスト含有材料撤去時など）	18. アスベスト含有材料撤去に伴う共通仮設が必要となる際は追加協議可能です。
19. 内部仕上げ足場の脚立足場について使用箇所が不明です。棚足場の上での脚立使用は危険と思われます。棚足場を既設仕上げ材撤去作業できるヶ所まで組立その後下地作業できる高さまで盛替えして下地作業を行い又仕上げ材工事できる高さまで足場を下げないといけないと思いますが、その変更協議は可能でしょうか？	19. 2階床から施工する範囲は脚立足場を使用し、1階床から施工する範囲は棚足場を使用します。それ以外に変更が必要となる場合は協議が可能です。
20. 質問 19 の足場への安全手摺、資材等の落下防止ネットが計上されていません。変更協議可能でしょうか？	20. 手すり先行方式としており、全面足場を計上しています。
21. 耐震改修工事の下地鉄骨は工場での錆止め塗料 1 回と数量書に記載ありますが、現場での錆止め仕上げ塗装等は無しと考えてよろしいでしょうか？	21. 現場での錆止め仕上げ塗装は必要ありませんが、運搬時及び施工時に塗装不良箇所が生じた場合はタッチアップが必要となります。
22. 既設鉄骨と下地鉄骨の接合キャッチクランプ金具及び下部の仕上げ材との取合い凸状金具及びナットは数量書に記載がありません。変更協議可能でしょうか？	22. 吊りボルトに含まれております。
23. 天井下地及び下地鉄骨のあと施工アンカー、施工カ所と既設鉄骨位置ご教示ください。	23. 天井下地：512ヶ所、下地鉄骨：40ヶ所です。既設鉄骨図をご提供します（資料 1）。
24. あと施工アンカー既設コンクリート穿孔時埋設設備配管等との干渉が考えられますが、その際の修復等変更協議可能でしょうか？	24. あと施工アンカーを既設コンクリートに穿孔する際は、埋設設備配管等に干渉しないよう施工願います。
25. 天井吊りボルト W 3 / 8 の長さが 2,000 ～ 2,800 程度になると思われますが、水平方向も補強が必要に思われますが変更協議可能でしょうか？	25. 天井のふところが 1.5m 以上となる場合は吊りボルトの補強部材等の追加に伴い変更協議します。
26. 質問 25 の吊りボルト及び補強材等が既設設備配管等に干渉することが予想されます。その際は変更協議可能でしょうか？	26. 吊りボルト及び補強材等は既設設備配管等の干渉を避けて施工願います。
27. 図面 A-14 にて膜パネル D 部分凡例では t=4mm と表記されて、接合部詳細図では t2.0 と表記されています。どちらが正でしょうか？	27. t=2.0mm が正となります。修正図面を掲載します（資料 2：A-14、資料 3：A-09）。
28. アスベスト含有資材の調査費用は追加協議可	28. 調査済であるため、石綿含有建材の調査報

能でしょうか？	告書（写し）を提供します。
29. 天井アルミ板張りはフッ素焼付塗装仕上げですか。又、同下地材は溶融亜鉛メッキ材を使用するのかご教示下さい。	29. アルミ板張り t2.0 の上、粘着剤付き化粧塩ビフィルム張りとしてください。又、下地材については錆止め塗装（A 種）としてください。（参考資料：図面 A-04「8-2-(5)」、資料 3：修正図面 A-09「改修後：アルミ樹脂複合板 t=2mm（不燃材）アルミ下地材」）。
30. 天井アルミ板張りの厚みは 2mm で良いですか。又はアルミ樹脂複合板（不燃材）で 4mm 仕様が宜しいでしょうかご教示下さい。	30. アルミ板張り t2.0 の上、粘着剤付き化粧塩ビフィルム張りとしてください（資料 3：修正図面 A-09 参照「改修後：アルミ樹脂複合板 t=2mm（不燃材）アルミ下地材」）。